

初めに

夏の参議院選挙で参政党が躍進しました。私は、何処の政党にも所属していませんので、参政党に対しては是々非々の立場です。

それでも、一定の市民からは与野党含めた既成政党への不信感や「外国人労働者や移民」に対する懸念の声も聞いており、彼らの躍進と問題提起には注目していました。

そしてTVなどでは参政党に対し「外国人排斥だ」との批判も多かったですが、国民の懸念に正面から向き合わなかったことで、殆ど効果を上げることはなかった様に感じました。

いま日本人労働者が足りず、労働力供給面で外国人労働者が一定数必要な存在になっていることは否定できません。一方で、外国人との共生施策コストもかかり、未来の日本経済や社会にとって必ずしもプラスに働くのかは分かりません。

欧州では文化の衝突も起こっており、全くリスクがないとも言えません。

そして、日本人が土地を購入できない国（中国やインドネシア）もある以上、相互主義の観点から外国人の土地購入規制の議論があっても良い筈です。

勿論、外国人だからと一律に忌避すべきではありません。多くは良い人たちです。

その上で、多様な議論主張を歓迎し、様々な角度で検討していける様な状態こそ、社会の発展や安定に繋がっていくと私は思っています。

今後、外国人政策が冷静に議論されていくことを期待しています。

豊川市議会議員（豊川市民オンブズマン代表） 倉橋英樹



◎ 学校へのウォーターサーバー設置について ◎

令和5年9月議会の一般質問で提案していたウォーターサーバーが、代田中学校と桜木小学校で試験的に設置されました。

ただ、私の提案の契機となった（当時、水道の赤水問題があった）代田小学校は、ひと足早くPTA会費での設置がされており、以下のような設置状況です。

* ウォーターサーバー設置状況（PTA設置 or 公費設置）

代田小学校(PTA)	桜町小学校(PTA)	桜木小学校(公費)	代田中学校(公費)
------------	------------	-----------	-----------

（PTA設置はタンク注入式のレンタルで、公費設置は水道直結機器の購入をしています）

市は今後、公費設置した2校の利用状況などを評価し、公費設置の拡大も検討していくとのことでした。そこで、代田小学校と代田中学校に視察へいきましたが、両校とも子どもたちの利用も多く、好評だと伺っています。

今年の様な酷暑が毎年続いていく可能性もあり、子どもたちの熱中症リスクを下げるためにも…

来年の夏には公費設置の学校が増えていくよう、後押していきたい。

オンブズ議員の活動報告

No. 55

★主権者の皆様へ★

☆ 令和6年度 決算の審査 ☆

9月議会では令和6年度決算書の認定議案が提出され審議されました。今回は裏面の一般質問にも通じる町内会に関わる箇所の質疑を紹介いたします。

① ごみ対策事業推進交付金（940万円）

Q（倉橋の質疑）	A（市当局の答え）
ごみ対策事業推進交付金の目的と交付額の算定方法は？	地域のごみ対策、不法投棄の抑制及び環境美化などに協力する町内会に対し、当該町内会に加入している世帯数に応じて交付しています。
町内会未加入の方がごみステーションを利用して、町内会と揉めてしまうこともあるが、どう考えているか。	町内会未加入者のごみステーション利用に関するトラブルがあることは承知しており、情報収集に努めていきます。
ゴミの処理は法律上、市の責務です。町内会未加入者を含めた人数で交付金算定し、ごみステーション当番など（町内会）に十分な手当を出し、揉めない様にすべきではないか？	町内会による地域のごみ対策、不法投棄の抑制及び環境美化などの取り組みに対して交付対象としているので、柔軟な対応は可能です。頂いた意見を含め、引き続き円滑なごみ対策事業の推進に努めていきます。

② シティマラソン大会負担金（204万7000円）

Q（倉橋の質疑）	A（市当局の答え）
大会の運営スタッフ数は？	ボランティア163人、スポーツ推進委員73人、校区体育振興会70人、市職員52人、その他スポーツ協会など総勢493人です。
スポーツ推進委員や体育振興会（体育委員）の負担についてどう考えているか。	市からの依頼で運営スタッフとして従事頂く方の中には、負担に感じている方もいるのではないかと認識しています。
スポ進や体育委員は本来、校区での活動が任務であり、市イベントの労働力ではない。負担軽減の為、業務委託やリレーマラソンとの集約化を。	スポーツ推進委員の意見を伺いながら、運営手法の見直しを検討していきます。集約化についてもまずは運営手法の見直しを進め、運営の適正化を考えたい。

スポ進や体育委員には子育て世帯も多く、市のスタッフ依頼に苦悩の声が届いています。

「子育て応援団」を自称する豊川市が、家族団らんの時間を奪ってはいないか。

ご意見やご質問、情報提供などお待ちしております。

制作及び 文章責任	くらはし ひでき 倉橋 英樹	連絡先（携帯） 090-6577-6895 fpkura@yahoo.co.jp	
住所 HP	愛知県豊川市御津町広石広国 49-1 https://fpkura.wixsite.com/website		

報告紙の一部を福祉作業所様に配布委託しています。地域によって配布時期が異なる等ありますが、ご理解願います。私の高い議員報酬を有効に使わせて頂いております。

令和 7 年 9 月定例会／一般質問		◇ 町内会活動及び各委員の負担軽減について② ◇	
◇ 町内会活動及び各委員の負担軽減について① ◇		引き続き、具体的な町内会役員などの負担軽減策を提案しながら、質問しました。 (質問・答弁要旨抜粋)	
町内会（自治会）は全国的に加入率減少が進んでおり、本市でも課題と捉え質問しました。 (質問・答弁要旨抜粋)		Q（倉橋の質問）	A（市当局の答え）
豊川市の町内会加入率の推移は？	令和 5 年度 68.3%、令和 6 年度 66.4%、令和 7 年度 65.5%となっています。	町内会が行っている広報誌の配布を、他市では民間委託して負担軽減に取り組んでいる。豊川でもやらないか。	同様の取り組みをしている 2 自治体の経費を聞き取ったところ、約 2000 万円と 6000 万円でした。民間委託の予定はないが、負担軽減に繋がる事業を検討したい。
町内会に加入しない、又は脱退する理由を市はどのように把握しているか？	平成 30 年度に行ったアンケート「町内会加入を断られる理由」では、「近所付き合いが煩わしい」が最も多く、続いて「役員になりたくない」「メリットがない」「会費を払いたくない」が上位でした。	更生保護女性会員の成り手不足の状況と活動日数を聞く。	成り手が少ないとの声を伺っている。団体活動は令和 6 年度 44 日でした（+個人活動）。
市は様々な町内会の加入促進の取り組みをしているが、その効果は？	町内会の案内チラシやパンフレットの配布、加入促進マニュアルの作成、専門知識を有したアドバイザー派遣をしているが、加入率は減少傾向です。	更生保護女性会員の実費弁償（報酬）と個人負担（会費）を聞く。	更生保護女性会員に対して、実費弁償金を支給する制度はなく、年会費は 1400 円です。
町内会の役員募集手法は把握しているか。また、代わりを見つけないければ役員を辞められない一部団体では、「町内会自体を脱退する」という選択をされる方もいることを把握しているか。	役員募集方法の一部は把握をしているが、全ての手法を把握できていません。また、代わりの役員を見つけないければ辞められないという事情から、町内会を脱退する方がいるという実態も市としては把握していません。	個人負担がない状態を理想とし、補助の増額を検討すべきではないか。	本市の会員一人当たりの補助金額が近隣市よりも少ないことは課題として認識しています。
任意でやめられない状態は違法と思われるが、市の認識を伺う。こういったコンプライアンスの認識の差が、町内会への忌避感や軋轢にも繋がっており、他市の様に最高裁判例を例示したマニュアル作成など、周知が必要と考えるが、どうか。	市としても、市民の自由な意思が尊重される適正な町内会運営が行われるべきだと認識しています。 マニュアル作成は考えていないが、市民からコンプライアンス違反の相談があった時は、町内会に対し適正な運営の実施を働きかけていきます。	スポーツ推進委員の職務は？	スポーツ基本法で、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整、住民へのスポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行うことと規定されています。
「町内会役員負担軽減庁内プロジェクトチーム」について、その活動状況を伺う。	町内会役員に出席や参加をお願いしていた会議やイベントなど、6 件のケースを廃止しました。また、行政からの依頼事項等に対する基準を定めるガイドラインの作成や、予算を伴う負担軽減策の実施について、協議検討を進めています。	スポーツ推進委員の活動日数は？	毎月 1 回定例会を開催、研修会が年 9 回程度、更に本市主催の 3 つのスポーツ行事への従事協力をお願いしてます（計 30 日程度）。その他、校区ごとの活動もあり、活動頻度には差があります。
町内会役員の業務負担状況とその負担軽減目標はあるのか？あるのであれば達成状況は？	令和 6 年度の町内会長の 1 月当たりの業務従事日数は、1 月あたり 1 日～7 日が 41%、8 日～14 日が 35%、15 日以上が 24%でした。目標には、電子回覧板「結ネット」導入町内会に交付する補助金交付団体数を設定しています。現在 56 団体で目標の 44 団体を上回っています。	市民体育大会の意義、歴史について伺う。	昭和 35 年度から開催し今年 66 回目となります。市民にスポーツを親しむ機会を提供し、市民の健康増進並びにスポーツマンシップの高揚を図ることを目的に開催しています。
負担軽減の目標を、市は「結ネット」の活用団体数にしていました。しかし、活動日数や業務量などの数値目標が、負担軽減の推進に必要ではないか。		市民体育大会の参加選手の実態とスポーツ推進委員や体育委員の参加について伺う。	参加選手の選出方法は、詳細把握していません。スポーツ推進委員は大会運営側として前日準備と大会当日に従事頂いています。体育委員は大会に選手として参加される方もいると聞いています。
		市全体で行なう市民体育大会の役割は終わったと考える。市民体育大会の廃止又は、完全な任意である旨の告知を。それによって得られるニーズの調査、把握についての考えを伺う。	スポーツ推進委員の皆さんと大会内容について検討していきたい。また、本大会への参加が任意であることは以前より変わっていないので、周知に努めていきます。
		校区ごとに行う地域の運動会には地域の懇親を図る意義があると思いますが、趣味の多様化やスポーツジムの出現など時代が進んだ今、市民体育大会の目的は薄れてきています。また選手の強制参加も一部町内会で行われ、町内会脱退にも繋がっていました。参加市民が笑顔になれない自己満足の事業になっていないか、考えるべき時だ。	